# 八王子地域合同学園祭「第13回 学生天国」報告

2018/05/13

## 学生の地域活動紹介 in JR八王子駅前通り

5月13日（日）、八王子駅前の西放射線ユーロードにて、八王子市が主催する八王子地域合同学園祭「第13回学生天国」が行われました。

八王子市に設置されている大学の学生たちが集まってつくられるこのイベントでは、ボランティア活動紹介の他にも、ソーラーSL試乗、化粧品販売、落語や学生プロレスの披露など、様々な催しが行われ、大盛況でした。

本学ボランティアセンターでは、学生の地域活動紹介エリアにブースを構え、「地域ボランティアプログラム」についてパネル展示と口頭発表を行いました。

ステージ発表では、首都大学東京からアカペラサークルの「das Lied」とジャグリングサークル「Team “Lamp”」が参加し、日頃の練習成果を披露していました。「応援団」も発表予定でしたが、途中から雨が降り始めたため、残念ながら中止となってしまいました。

### ・パネル展示による活動報告

パネル展示では、首都大独自のボランティアプログラムについて、活動の目的や様子が伝わるように、写真や説明文をパネルに掲示しました。通りかかった地域の方々が興味深げに眺めてくださり、「これはどんな活動なのか」「なぜこのような活動が必要なのか」「素晴らしい活動ですね」といった声をかけていただきました。

さらに、OBの方や南大沢に住んでいらっしゃる方などからも、励ましや応援の声をいただき、とても嬉しかったです。

パネル展示ブースには、100人を超える方々が来てくださり、本センターが発行しているニュースレターやチラシ等を受け取ってくださいました。

### ・「地域ボランティアプログラム」の発表

11時30分からの口頭発表では、まず、今年で3年目となる「松木日向緑地プログラム」の活動について、プログラムに参加している学生２人が発表してくれましました。

これまで松木日向緑地や南大沢地域で起こってきた「里山の荒廃による生態系への悪影響」や「核家族化による多世代交流の断絶」など、社会課題の解決に向けて学生が地域の団体と協働して取り組んでいる様子や成果について分かりやすく話してくれました。

次に、今年度から新しく地域ボランティアプログラムとなった「みなみおおさまカフェプログラム」の活動ついて、プログラムになる前からコアスタッフとして活動に参画している大学院生が発表してくれました。

「みなみおおさまカフェ」誕生のきっかけやコミュニティカフェの特徴、今後の課題等について丁寧な説明がありました。コミュニティカフェの運営を通して、高齢者の方々が抱える困難を知り、その解決に向けて取り組んでいるそうです。学生主体での運営を継続し、次世代へ継承しながら地域とつながり続けていこうという熱い思い溢れる発表でした。

### ・他大学の学生との交流

「松木日向緑地プログラム」のように里山保全を目的としたボランティアを行っている学生団体があり、学生同士で活動内容について質問し合っていました。残念ながら、実際に里山保全の活動をしている学生は今回の展示に来ていなかったようですが、他大学の活動報告を聞いたり、ポスター掲示を見たりして、自分たちの今後の活動の参考にしていました。

地域の方々だけでなく、学生同士の交流から得たものも多かったようです。

### 活動説明や発表を行った学生の声

- 地域の方々との交流を通じて、自分たちの活動の意義について、より理解を深めることができました。
  また、活動についての説明をし終えた時に、「がんばってね！」と地域の方々に応援していただいたことが、とても嬉しく、改めて活動のやりがいを感じました。
- たくさんの方々とお話しできたり、首都大の活動に興味をもっていただくことができたりして楽しかったです。今後も地域活動に精進していきます！
- どのような活動を行っているのか、どのような目的で行っているのか、成果はどうなのか等、たくさんの質問をいただき、学外の方にも興味をもっていただけて良かったです。
  また、今回の学生天国が自分自身の活動について振り返る良い機会にもなりました。今後は学生コーディネーターとして学内の方々にも首都大の活動を広めていきたいです。

### パネル展示ブースの様子

4枚の大きな板の表裏に写真や説明文を掲示しました。

先月行った「みんなで一緒にたけのこ掘りin首都大・松木日向緑地」での活動の様子も掲示し、地域の方々に見ていただきました。